

10月1日は「浄化槽の日」です

浄化槽の定期的な「維持管理」は、法律で定められた義務です

「合併処理浄化槽」は、台所、トイレ、お風呂、洗濯などの家庭から出る生活排水を微生物の働きできれいにしてくれます。ただし、適切な「維持管理」を行わないと、浄化槽内の微生物の働きが弱くなり、汚れたままの生活排水が川に流れてしまいます。それだけではなく、浄化槽の故障の原因にもなります。



維持管理

法定検査

車で例えると車検にあたるもので、「保守点検」や「清掃」などが適切に行われているか、浄化槽の処理機能が十分確保されているかなど、浄化槽の状態を検査します。検査結果と注意事項などを記載した書類をお渡します。

検査で指摘があった内容は、早めに保守点検業者に連絡して、適正な状態に改善してください。

(指摘内容の一例)

- ・洗剤などの使用が多いと思われます。浄化能力の低下の原因となります。
- ・水質検査で、放流水質の悪化が見受けられます。 ……など

清掃

浄化槽に溜まった汚泥などの不要物を抜き取り、中をきれいにします。また、付属装置や機械類の洗浄作業をします。

保守点検

浄化槽の機械設備や内部の状況や稼働状況を点検し、調整や消毒剤の補充をします。

10月は「3R」推進月間です

「3R」（スリーアール）は、ごみ減量やエネルギー節約のキーワードです。

Reduce (リデュース) の取組の一例

お買い物にはマイバックを持って行こう！

お買い物をする時にレジ袋を受け取らず、マイバックを利用することは、ごみの減量や石油資源の節約、地球温暖化防止の活動につながります。

〈県内のレジ袋削減取組事業者の実績〉

取組開始からの累計（H21.6～H31.3）・県内32事業者1組合（平成31年4月現在）

- ・削減枚数 8億2,982万枚
 - ・CO₂削減量 約51,449t（杉367万本分の年間CO₂吸収量に相当します）
 - ・ごみ削減量 約8,298t（レジ袋1枚あたり約10g）
 - ・石油削減量 約15,186kℓ（レジ袋1枚につき約20mℓの石油が使用されています）
- *玖珠町の1人1日当たりのごみの総排出量：851g（平成29年度）
- *レジ袋を含む容器・包装は、家庭から出るごみの約6割を占めていると言われています。



・リデュース ごみの量を減らそう
・リユース 繰り返し使おう
・リサイクル 資源として活かそう

環境学習会を開催しませんか？

地域やグループなどで、環境やごみ分別についての学習会を開催しませんか？

少人数でも構いません。お気軽に環境班までお問い合わせください。

